平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	横須賀三浦地域農業改良普及センター
３５		
※記入不要		

要望問題　三浦特産野菜(スイカ・メロン・カボチャ)のうどんこ病原菌の薬剤耐性について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

三浦半島南部地域ではスイカ・カボチャ・メロンが特産野菜として作付けられている。これらの野菜はうどんこ病が発生しやすく、また防除回数も多い。

近年、うどんこ病に対する防除薬剤が効きにくい傾向が強く、特にカボチャについて生産者は「効果的な薬剤がない」という発言が多い。

カボチャは収穫前にうどんこ病に罹病した場合、他の作物より被害が大きく、果実の色や食味などが低下する。

効果的な散布農薬や散布時期・回数の検討の根拠とするため、カボチャを含めた上記３品目のうどんこ病の薬剤耐性を明らかにすることは、効果的な防除を考えるうえで大変重要である。

また、病原菌の薬剤耐性の獲得を考えた場合、毎年、最低隔年に実施されることが望ましい。

三浦半島地域のウリ科野菜作付け状況(Ｈ１４、神奈川農林水産統計年報より)

	スイカ	カボチャ	メロン	計
作付面積(ha)	439	191	70	700
収穫量　（ｔ）	13,769	3,480	1,080	18,329

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：農業環境部・生物資源部

対応区分　①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　(①、②、④の場合)

遺伝子診断法による殺菌剤耐性菌簡易検出技術の開発

対応の内容等

上記課題を本年度より設定して取り組んでおります。

農環研、東洋大学、栃木農試、全農との共同研究で、当所は対象病害はウリ類うどんこ病を中心にDMI剤耐性菌について遺伝子診断できる技術を開発を目指して行っています。

この技術が開発されるとスイカ以外の作物におけるうどんこ病のDMI剤耐性については簡易に判定が可能で、これまで行っていた生物検定では不可能であったリアルタイムでの生産現場への耐性菌情報をお伝えできます。

また上記課題以外に新農薬実用化試験としてカボチャうどんこ病に対する新剤の登録促進のための効果試験も実施しております。

解決予定年限　①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考